

みどりの推進部の取組概要

札幌市建設局みどりの推進部について

みどりの推進部は、市内の公園緑地や街路樹、森林といった「みどり」の保全と創出を担う組織です。「札幌しみどりの基本計画」に基づき、公園緑地や街路樹の計画的な整備や適切な維持管理、森林の多面的機能の発揮を目指した取組などを行うほか、民間活力を導入した公園の魅力向上、市民・企業と連携した緑化活動の推進などに取り組んでいます。
※みどりの基本計画：緑地の保全や緑化の推進に関して、その将来像、目標、施策などを市町村が定める基本計画

主な取組について ※★印を付した項目は、別紙資料でもご説明します。

■多様な機能を発揮する公園づくり

・厚別山本公園

埋立処分場である山本処理場の埋立完了地を有効活用し、環境保全、防災、景観形成、レクリエーションなど多様な機能を発揮する大規模公園の造成を進めている。

令和7年4月には北エリアの整備が完了し、アクションスポーツ広場の供用を開始した。

・手稲稲積公園

プールやテニスコートなどを有する運動公園。スケートボード等の利用ニーズを踏まえ、利用マナーや騒音の調査、公園利用者の意見等の把握を行い、仮施設を2年間運用した上で、常設エリアとして整備。

令和7年4月、スケートボードエリア1,900㎡、バスケットボールコート2面700㎡の供用を開始した。

■都心のみどりづくりの推進

★大通公園

札幌市が取りまとめる大通公園の基本計画やデザイン検討等において、「大通公園のあり方（令和6年度策定）」のテーマやコンセプトが反映・推進されているか、専門的見地から意見やアドバイスを求める有識者会議（アドバイザリーボード）を令和7年11月・令和8年1月に開催。

・中島公園

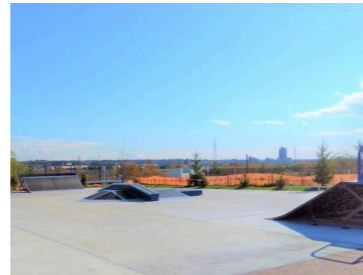
令和6年度に策定した「中島公園未来への魅力継承プラン」に基づき、公園関係者の連携強化を図りつつ魅力発信等を行うことを目的とした実証実験の一環として、市民や観光客のニーズに応えながら公園の魅力や資源を活かしたイベント「秋のNakaやすみ」を令和7年11月に開催。

■街路樹のメリハリのある管理

・札幌市街路樹基本方針

街路樹の将来像に向けた取り組みやロードマップを示す「札幌市街路樹基本方針」を平成27年に策定。現状や課題を踏まえ、昨今の情勢の変化に対応するため、令和7年10月に改定を行った。

<厚別山本公園>



<手稲稲積公園>



<中島公園イベント>



■民間活力による公園の魅力向上

★百合が原公園Park-PFI

6,400種類ほどの花や植物、園内をめぐる列車「リリートレイン」などの施設を有する総合公園。

令和7年10月、札幌市で初となるPark-PFI事業による公園交流施設「LiLiLi」が百合が原公園にオープン。

Park-PFI：民間事業者が公園内に飲食施設等を整備し、その収益の一部を公園の整備費や管理費に充当する制度

・手稲稲積公園サウンディング型市場調査

公園開設から40年以上が経過している手稲稲積公園の魅力の向上に向けて、民間事業者から実現可能な施設機能の提案や意見をいただき、官民連携手法の導入の可能性を検討することを目的として、令和7年6月から8月にかけてサウンディング型市場調査を実施した。

・札幌駅東公園

都心のみどりの確保を目的とした、民間再開発の公共貢献による公園。民間事業者が容積率緩和等の条件として公園施設を整備・無償譲渡し、その用地を市が無償で借り受ける形態をとる。令和7年4月に供用を開始した。

■市民活動の推進

・ます花壇優良制作者・大通花壇コンクール表彰式

地域住民が街路樹ますや植樹帯などで造成する花壇や、企業が大通公園で出展する花壇について、その取組が優秀なものを毎年表彰。

・「緑の絵」コンクール表彰式

札幌市と（公財）札幌市公園緑化協会の共催。

市内の街路樹・木や花のある公園の様子など、身のまわりにある緑の風景をテーマに、小・中学生の作品を審査。

■持続可能な森林保全・活用

・札幌市森づくり基本方針

札幌市が進める森林整備や木材利用などの基本的な考え方を示すものとして、「札幌市森づくり基本方針」を令和7年2月に策定。本方針に基づき、市内の適切な森林整備など各種施策を進める。

■その他

・丘珠空港緑地 緑地機能の維持・向上に関する取組

丘珠空港緑地は、丘珠空港に隣接し、航空機の地上騒音や風雪の緩衝機能と遊具・遊歩道などのレクリエーション施設を有する都市緑地。

丘珠空港を核とした周辺まちづくりの目指す姿や必要な取組の指針として、「札幌丘珠空港と周辺地域の共生に関する基本構想」を令和7年3月に策定。この基本構想に基づき、丘珠空港の滑走路延長等による影響を踏まえて、丘珠空港緑地の緑地機能の維持・向上に必要な緑地整備の検討に着手。

・札幌市公園照明灯LED化ESCO事業

ESCO事業は、事業者が公園照明灯のLED化工事に必要な資金調達から施工、施工後10年間の維持管理までを一貫して行い、札幌市はLED化によって削減された電気料金および維持管理費を財源として、その対価を10年間にわたり事業者を支払うという仕組み。

令和7年8月に事業者が選定され、令和18年11月まで当該事業者が維持管理を行う予定。

<公園交流施設「LiLiLi」>



<札幌駅東公園>



<大通花壇コンクール>

